

平成二十年一月八日提出  
質問第三八六号

外務省所管の社団法人「日米平和・文化交流協会」の業務内容に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

外務省所管の社団法人「日米平和・文化交流協会」の業務内容に関する質問主意書

一九四七年に日米文化振興会という名称で設立され、一九六八年に外務省より公益法人の認可を受け、現在は日米平和・文化交流協会という名称で活動を行っている社団法人（以下、「協会」という。）につき、以下質問する。

- 一 「協会」が設立された理念並びに主な活動趣旨につき、説明されたい。
- 二 現在「協会」は、主にどのような活動を行っているか。
- 三 直近十年の「協会」の年毎の収支状況並びに「協会」の収入のうち国からの助成金はいくらを占めるのか明らかにされたい。
- 四 「協会」に天下っている外務省職員はいるか。いるのならば、その人物の氏名と外務省を退職する直前の官職を明らかにされたい。
- 五 外務省は「協会」に対して便宜供与を行っているか。行っているのならば、具体的にどのような便宜供与を行っているのか明らかにされたい。
- 六 外務省は「協会」に対して資金援助を行っているか。行っているのならば、過去十年につき、年毎の援

助額を明らかにされたい。

七 「協会」には常勤職員は何名いるか。

八 「協会」の理事に就任している者に対して報酬は支払われるか。支払われるのならば、その報酬額を明らかにされたい。

九 過去十年間、「協会」の理事に就任した国会議員はいるか。現時点でも就任している者を含め、全てを明らかにされたい。

十 九の「協会」の理事に就任している国会議員に対しても報酬は支払われているか。

十一 「協会」は、二〇〇一年と二〇〇二年に「日米安全保障フォーラム」を開催し、また二〇〇三年以降は毎年「日米安全保障戦略会議」という会議を開催していると承知するが、右の「日米安全保障フォーラム」、「日米安全保障戦略会議」の具体的な活動内容を明らかにされたい。

十二 十一の「協会」による活動は、一の「協会」の設立理念並びに主な活動趣旨に合致するものか。外務省の見解如何。

十三 二〇〇三年二月に「協会」は福岡県苅田港の毒ガス弾処理のための調査事業を防衛庁（現防衛省）か

ら受注したと承知するが、右は一の「協会」の設立理念並びに主な活動趣旨に合致するものか。外務省の見解如何。

十四 「協会」に対して、過去に外務省より業務の改善命令を下したという事実はあるか。あるのならば、その全ての内容につき、説明されたい。

十五 十二と十三で、合致していないと外務省が考えているのならば、本来の活動趣旨と違う活動を行って  
いる「協会」を、整理縮小、または廃止の対象として検討すべきではないのか。

右質問する。